

# 環境対策に株主が意見

## 名護市の投資会社フアンド設立

名護市の金融特区に本社を置く投資会社サステイナブル・インベスター(瀧澤信社長)は、フアンドを通じて投資家が投資対象企業の環境への取

り組みに、自らの意見を反映させる株主行動型ファンド「エコバリユニアップ・ファンド」の売り出しを始めた。一般公募型の株主行動型ファンド

の設立は全国初という。

国内上場企業で、環境面で優れた技術を持つ成長性の高い企業や、環境対策の導入で優良企業となる可能性のある企業の株式を中心に運用する。メールマガジンやブログを開設して、環境についての投資家の意見を集約、反映させる。

サステイナブル・インベスターが得る成功報酬のうち10%は、環境団体や各種研究機関へ寄付。投資家はインターネット上でこの組織に寄付するかを選択できる。

瀧澤社長は「豊かな自然環境を誇る沖縄からフ

アンドを通じて環境の大切さを全国に向け発信していきたい」と述べた。同社のウェブサイトで全国の一般投資家向けに10万円単位で5万口を販売。運用期間は5年間で、期間中の譲渡や買い戻しはできない。運用は「エコバリユニアップ・ファンド1号投資事業匿名組合」が行う。

当面は10-20社に集中投資し、ファンド販売額の目標を10億円としている。